



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
 コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 谷井 剛
 (氏名) 山本 忠幸
 TEL 03-3233-1301

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,975	1.3	770	4.4	581	23.7	395	17.3
2020年3月期第3四半期	15,774	18.1	806	47.5	761	52.9	478	22.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 395百万円 (17.4%) 2020年3月期第3四半期 478百万円 (22.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	23.67	
2020年3月期第3四半期	28.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,624	1,692	14.5
2020年3月期	11,814	1,580	13.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,680百万円 2020年3月期 1,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		10.00	17.00
2021年3月期		7.00			
2021年3月期(予想)				10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.0	800	20.2	700	27.5	480		28.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	16,693,200 株	2020年3月期	16,693,200 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	5 株	2020年3月期	5 株
------------	-----	----------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	16,693,195 株	2020年3月期3Q	16,693,195 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、前年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症拡大により、経済活動は制限を受け、厳しい状況が続いており、先行きは依然として不透明なものとなっております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)FISソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」・「AmaVo」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社では登録小売電気事業者として法人顧客に電力サービス「Elenova」を提供しており、新たに「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックス及びタクトシステム(株)においては、法人顧客からのニーズが強い「ドキュメントソリューション・ビジネス」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、主に法人顧客に対し「コンサルティング」を提供しております。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大による事業への影響は、第1回目の緊急事態宣言の発令による経済活動の制限等により、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」において情報通信機器の入荷の減少、「ドキュメントソリューション・ビジネス」において各種セミナーやイベントの中止による印刷物の減少、「コンサルティング・ビジネス」においてはショッピングモール併設の保険店舗閉鎖等が発生いたしました。第2回目の緊急事態宣言の発令により経済活動の制限が生じた場合に、当社グループの業績に影響を与えるおそれがあります。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が159億75百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益が7億70百万円（前年同四半期比4.4%減）、経常利益が5億81百万円（前年同四半期比23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億95百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称及び区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント名称及び区分に組替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。インターネット接続サービスの大口卸販売先の破産手続き開始決定に伴い契約数が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は99億6百万円（前年同四半期比16.2%減）、セグメント利益は4億66百万円（前年同四半期比29.8%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力を提供しております。新規獲得件数が順調に伸びたこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は26億16百万円（前年同四半期比243.2%増）となりましたが、2020年12月下旬に発生した、日本卸電力取引所の電力取引価格の高騰の影響を受け、仕入原価が増加したことにより、セグメント利益は90百万円（前年同四半期はセグメント損失49百万円）に留まりました。

《ドキュメントソリューション・ビジネス》

「ドキュメントソリューション・ビジネス」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。新型コロナウイルス感染症の影響で、各種セミナー・イベント印刷物作成の中止等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は10億62百万円（前年同四半期比13.4%減）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント利益39百万円）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。大口の保険契約の獲得及びシステム開発受託等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は23億89百万円（前年同四半期比21.4%増）、セグメント利益は2億19百万円（前年同四半期比45.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は116億24百万円となり、前連結会計年度末比1億90百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加(4億98百万円)、受取手形及び売掛金の減少(2億52百万円)、未収入金の減少(2億19百万円)、長期前払費用の減少(3億19百万円)及び破産更生債権等の増加(1億21百万円)によるものであります。

負債の残高は99億32百万円となり、前連結会計年度末比3億2百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(1億55百万円)、未払金の減少(80百万円)、未払法人税等の減少(2億5百万円)、未払費用の増加(87百万円)及び預り金の増加(55百万円)によるものであります。

非支配株主持分の残高は11百万円となりました。また、純資産の残高は16億92百万円となり、前連結会計年度末比1億11百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までは、公表数値の進捗率も良く堅調に推移しておりました。

しかし2020年12月下旬に発生した日本卸電力取引所の電力取引価格の高騰により、当社が電力の小売を営む「ユーティリティ・ビジネス」では、仕入原価が増加する影響を受けております。

この高騰の複合事後的な要因となった、寒波の早期到来と輸入の遅れによる発電燃料の不足は既に解消し、取引価格の高値も2021年1月下旬には収束に向かっており、影響は一時的なものと捉えておりますが、現時点では影響範囲を限定した業績予想の算定が困難となっております。今後、予想の算定が可能となり、業績予想数値の修正が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,030,538	1,529,464
受取手形及び売掛金	3,443,122	3,190,291
商品及び製品	98,888	76,044
仕掛品	34,123	58,317
原材料及び貯蔵品	100,886	291,015
未収入金	2,203,382	1,983,386
前払費用	1,132,635	1,094,940
その他	59,547	58,346
貸倒引当金	△149,889	△160,552
流動資産合計	7,953,236	8,121,255
固定資産		
有形固定資産	115,671	102,397
無形固定資産		
のれん	445,232	399,540
その他	396,295	439,377
無形固定資産合計	841,528	838,918
投資その他の資産		
長期前払費用	1,448,311	1,128,761
破産更生債権等	2,768,520	2,889,985
その他	1,276,691	1,255,203
貸倒引当金	△2,589,026	△2,712,275
投資その他の資産合計	2,904,496	2,561,675
固定資産合計	3,861,695	3,502,991
資産合計	11,814,931	11,624,246
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,395,915	2,240,845
短期借入金	3,956,000	3,914,000
未払金	2,602,193	2,522,188
未払法人税等	277,728	72,033
賞与引当金	176,868	126,295
役員賞与引当金	8,000	53,299
その他	496,047	720,495
流動負債合計	9,912,753	9,649,157
固定負債		
長期借入金	90,000	45,000
退職給付に係る負債	228,769	237,924
その他	2,700	—
固定負債合計	321,469	282,924
負債合計	10,234,222	9,932,082

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	984,076	1,095,475
自己株式	△1	△1
株主資本合計	1,568,782	1,680,181
非支配株主持分	11,926	11,982
純資産合計	1,580,708	1,692,164
負債純資産合計	11,814,931	11,624,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,774,447	15,975,055
売上原価	10,705,268	11,504,361
売上総利益	5,069,179	4,470,693
販売費及び一般管理費	4,263,002	3,700,190
営業利益	806,176	770,503
営業外収益		
受取利息	504	7
違約金収入	10,302	28,197
その他	1,463	2,064
営業外収益合計	12,270	30,269
営業外費用		
支払利息	23,342	22,928
貸倒引当金繰入額	33,270	195,140
その他	6	1,275
営業外費用合計	56,619	219,343
経常利益	761,827	581,429
特別利益		
固定資産売却益	27	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
固定資産除却損	763	603
投資有価証券評価損	1,134	—
抱合せ株式消滅差損	45,247	—
特別損失合計	47,145	603
税金等調整前四半期純利益	714,709	580,826
法人税、住民税及び事業税	276,044	178,755
法人税等調整額	△39,785	6,831
法人税等合計	236,259	185,586
四半期純利益	478,450	395,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	381	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	478,069	395,183

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	478,450	395,239
四半期包括利益	478,450	395,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	478,069	395,183
非支配株主に係る四半期包括利益	381	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や終息時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
外部顧客への売上高	11,816,389	762,524	1,226,737	1,968,795	15,774,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,678	—	35,883	6,935	64,496
計	11,838,067	762,524	1,262,620	1,975,730	15,838,944
セグメント利益 又は損失(△)	664,681	△49,712	39,433	151,463	805,866

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	805,866
セグメント間取引消去	309
四半期連結損益計算書の営業利益	806,176

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
外部顧客への売上高	9,906,131	2,616,774	1,062,239	2,389,910	15,975,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,601	—	62,905	2,222	77,729
計	9,918,733	2,616,774	1,125,144	2,392,132	16,052,784
セグメント利益 又は損失(△)	466,337	90,725	△6,584	219,898	770,376

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	770,376
セグメント間取引消去	127
四半期連結損益計算書の営業利益	770,503

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「IP & Mobileソリューション・ビジネス」「ドキュメントソリューション・ビジネス」「コンサルティング・ビジネス」の3つの報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」「ユーティリティ・ビジネス」「ドキュメントソリューション・ビジネス」「コンサルティング・ビジネス」の4つの報告セグメントに変更いたしました。

従来、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」に集計しておりました電力供給事業は、経済的特徴の相違・量的重要性の観点から、報告セグメントを「ユーティリティ・ビジネス」にすることが望ましいと考え、名称及び区分を変更いたしました。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

重要な事業の譲渡

当社は、2021年2月9日開催の臨時取締役会において、当社の連結子会社である株式会社トライ・エックスの複写・印刷業の広島事業部を株式会社トライサクセスへ譲渡することについて決議し、2021年2月9日付で事業譲渡契約を締結いたしました。

1. 事業譲渡の理由

この度、株式会社トライ・エックス広島事業部担当取締役の中山正博氏及び同経営管理統括部マネジャーの荒地清水氏から広島事業部独立の要請があり、当社としても慎重に検討を重ねた結果、その申し出を受けることといたしました。

2. 事業譲渡の相手先企業の名称

株式会社トライサクセス

3. 事業譲渡の内容

(1) 事業譲渡の内容

複写・印刷業

(2) 当該事業の直近事業年度における売上高

売上高 432,034千円

(3) 当該事業の資産・負債の項目

広島事業部における資産、負債及び付随する契約等

(4) 譲渡価額及び決済方法

譲渡価額 380,000千円

決済方法 現金決済

4. 日程

(1) 取締役会決議日 2021年2月9日

(2) 契約締結日 2021年2月9日

(3) 譲渡実行日 2021年4月1日(予定)